

詳しくは今日配布の  
パンフレットで確認。  
気になる人は担任から  
資料をもらって下さい

## 奨学金の予約申し込みについて

校内 書類提出 締め切り 9月17日(水)

### ●公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団 高校育英会貸与奨学金予約

申込資格	両親のいずれかが沖縄県内に住所を有していること 中学校1・2年の成績平均が3.0以上であること ※成績平均が2.7~2.9の生徒であっても条件によって申込みできる場合あり		
奨学金(月額)	自宅通学	公立・・・18,000円	私立・・・30,000円
	自宅外通学	公立・・・23,000円	私立・・・35,000円
修学支援奨学金	220,000円 ※修業年限を通じて1回のみ		
返還	「月払いのみ」貸与終了後6ヶ月経過後に始まり、12年以内で行う		
その他	貸与型：併用× 給付型：併用○		

※高校予約は中学校を通して行います。

※財団が貸し出す奨学金は、無利息です。

※修学支援奨学金は、学校生活で生じる費用〔入学準備金(端末購入費)、資格取得費、部活費、修学旅行費及び大学受験準備費〕への使途として活用できます。

※成績要件が合致すれば、高校育英貸与奨学金及び修学支援奨学金は、いずれか又は両方を選択することができます。

・申込みには、必要な書類(住民票謄本や所得証明書等)があります。早めに担任の先生に申し出をして下さい。

・奨学生採用候補者となった後、沖縄工業高等専門学校(高専)に進学が決まった場合、対象外になり本採用とはなりません。別途応募枠がありますので、希望者は再度そちらに申し込んで下さい。

・高等学校等へ進学後も奨学生の募集があります。

・貸与型(借りる)奨学金は、貸与後、基本的に生徒自身が返還することになり、再び後輩の奨学金として貸し出す仕組みになっています、奨学金を希望する人は、奨学金の申込資格、返還方法等を十分理解したうえで申し込んで下さい。

その他、

●あしなが高校(高等専門学校)奨学金 10月1日よりオンライン申請開始

●交通遺児育英会奨学生 最終締め切り1月31日(書類不備なし)

# 入試に関する質問にお答えします。

## Q1 特色選抜はどのような人が出願することができますか？

A1 特色選抜は、推薦入試とは異なり、中学校からの推薦書が不要で自己推薦型の入試となります。各高校の[特色選抜「入学者選抜における求める生徒像・選抜方法」]をよく読んで下さい。志願する高校の出願要件、求める生徒像が自分にあてはまる場合、出願することが可能です。

## Q2 特色選抜のみの出願はできますか？

A2 できません。沖縄県立高校の入試は、一般選抜が基本です。特色選抜と一般選抜の両方への出願（同一校も可能）、または一般選抜のみの出願となります。また、特色選抜の志願変更はできません。

## Q3 特色選抜の入試はいつ頃ですか？

A3 1/21(水)の進路決定時に一般選抜と同時に Web 出願システムで出願(確定ボタンを押す)し、3/4(水)・5(木)に一般選抜で出願した高校で学力検査が行われます。特色選抜の独自検査(面接・集団面接・作文・プレゼン・実技等)は、2月中旬に実施されます。

## Q4 特色選抜はどのように合否が決まりますか？

A4 各高校で合否の判定の方法は異なります。選抜項目・検査方法・配点は[特色選抜「入学者選抜における求める生徒像・選抜方法」]に掲載されます。例えば、昨年度陽明高校では、学力検査250点、調査書250点、プレゼン・実技150点、面接50点、計700点で判定されました。

合格発表は、3/17(火)に各高校のホームページ上で行われます。

また、高校入試の合否は特色選抜から判定されます。その後、特色選抜の合格者を除き一般選抜の合否が判定されます。そのため特色選抜・一般選抜の両方に合格することはありません

※[特色選抜「入学者選抜における求める生徒像・選抜方法」]は各高校のホームページをご覧ください。令和8年度入試(令和7年度実施)要項は、10月末まで掲載されることになっています。

### 県立高校の通学区域について

保護者の住所により決定されます。

例えば、両親が県外で仕事をしており(住民票も県外)、志願者本人は祖父母と県内で暮らしている場合、県外からの出願となります。「県外からの入学志願のための許可願」を申請する必要があります。該当する場合、早めに担任の先生に相談して下さい。